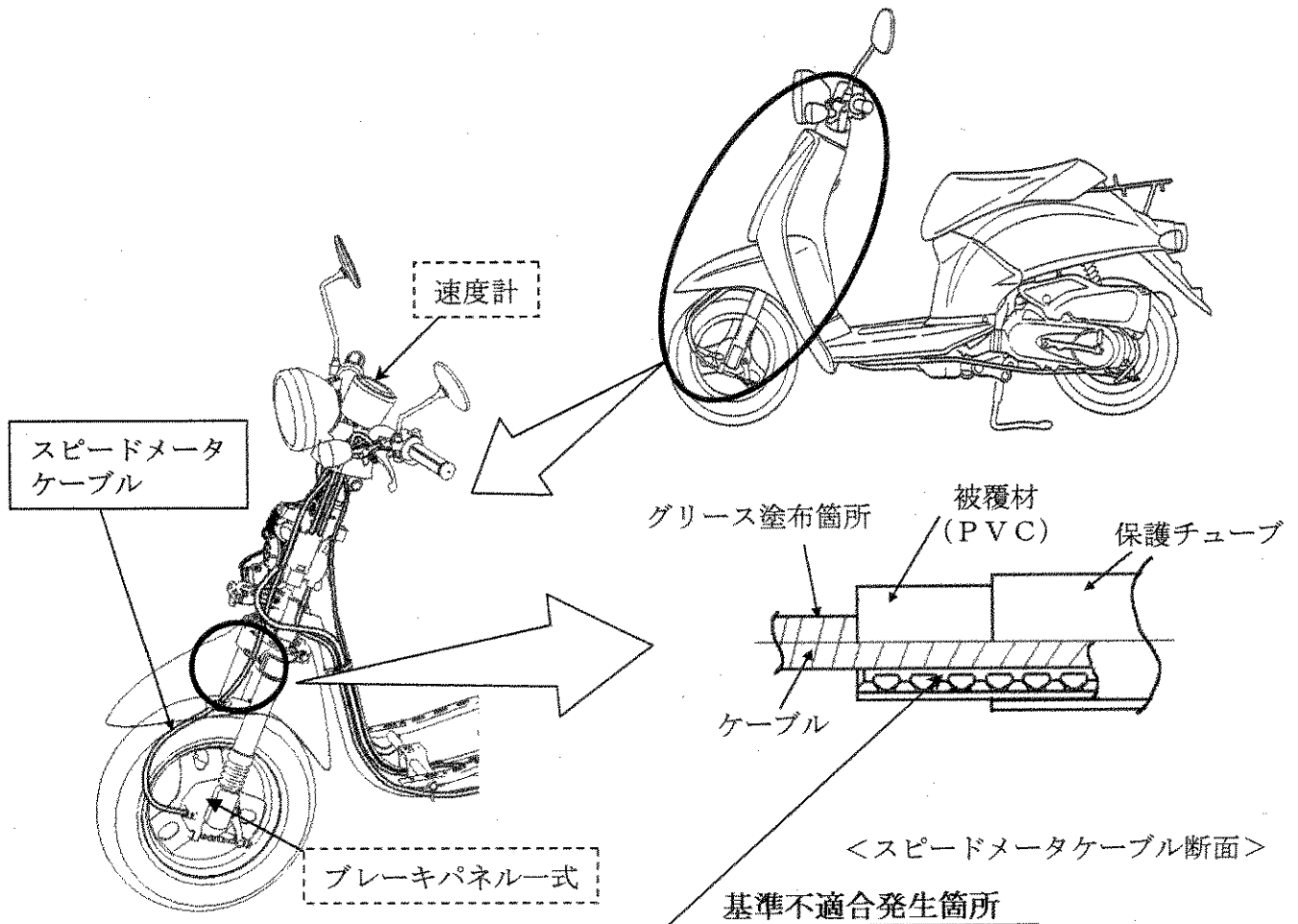


# 改善箇所説明図



スピードメータケーブルに塗布されたグリース成分が不適切なため、被覆材 (PVC) を硬化させることがある。そのため、そのまま使用を続けると、被覆材に亀裂が生じ、洗車等により水が浸入し、ケーブルが錆びて固着することがあり、ケーブルの折損又はメータギヤが欠け、最悪の場合、速度計が作動しなくなるおそれがある。

## 改善の内容

全車両、スピードメータケーブルを対策品と交換するとともに、速度計の作動状態を点検し、作動しないものはブレーキパネル一式又はブレーキパネル一式と速度計を新品に交換する。

改善前	改善後
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリース変更</li> <li>・保護チューブを15mm延長</li> </ul>

注：  は交換部品を示す。  は点検し必要に応じて交換する部品を示す。

識別：対策品のスピードメータケーブルは、保護チューブが金属加締部まで延長されており、容易に識別できるため、特別な識別の追加は行わない。